

コープながの 第26回 通常総代会

第26回通常総代会を、6月14日(木)にザ・ブライトガーデン(松本市)において開催しました。総代394名中書面議決を含む364名の出席で、2017年度の活動と決算、2018年度の計画と予算、役員選任の件について審議が行なわれました。採決の結果、第1号議案から第3号議案まで全ての議案が賛成多数で可決されました。



コープながの 最高議決機関・ 通常総代会

開会挨拶の中で上田理事長は、2017年度は組合員さんの利用と職員の奮闘に支えられて増収・増益となったこと、国連サミットにおいて「持続可能な開発目標」が採択されエシカル消費の考え方が重要になっていること、全国の生協で取り組んでいる「ヒバクシャ国際署名」の取り組みのことなどを通常総代会出席のお礼とともに述べました。



映像で議案を提案

上田理事長の挨拶に続き、長野県知事からの祝電を北原雅子理事が代読しました。

続いて第1号議案から第3号議案までの一括提案を行ない、監査報告を受けました。

■第26回通常総代会 議案採決結果

| 議案 | 反対 | 保留 | 採決 |
|-------------------------------------|----|----|---------|
| 第1号議案 2017年度のまとめ、決算書及び剰余金処分案承認の件 | 0 | 6 | 賛成多数で可決 |
| 第2号議案 2018年度の活動方針及び予算決定の件 | 1 | 10 | 賛成多数で可決 |
| 第3号議案 役員選任の件 | 0 | 10 | 賛成多数で可決 |

総代会での発言 「わたしの想い・願い 伝えたい」

第26回通常総代会に向けて募集した「わたしの想い・願い伝えたい」について、組合員6人が登壇して発言しました。また、職員1人が報告をしました。内容を抜粋して掲載します。

生協の存在と エシカル消費について



小山もと子さん
(東信地域・総代)

世界規模で時代が変化する中、貧困をなくし、誰ひとり取

り残さないとの理念をもつ「持続可能な開発目標」が国連サミットで採択されました。生協もその目標達成のために貢献していく決意が述べられています。生協も事業と活動を通して、貧困などの問題にも向き合っていく姿勢を持っていることはうれしいことです。これからも、生協の基本理念を忘れずに、地域社会になくしてはならない存在であり続けてほしいと思います。豊かな消費生活を送っている私たちですが、その裏側で今起こっている貧困や飢餓、児童労働など、社会問題に思いを寄せ、人や社会、環境に配慮したものを選び消費する「エシカル消費」を心がけたいと思います。

平和が大切



宮本容子さん
(中信地域・総代)

コープながのに加入して、30年以上になります。コープを利用しやすくするため、増資申込や積立増資をワンコイン(500円)にしてはどうでしょうか? 限られた収入の中から出資しや

すくなると思います。

最近、気がかりなのは、平和ということがあたり前のようになり、集団的自衛権の行使容認や憲法改正の動きがある事です。コープながのの企画で、無言館や満蒙開拓平和記念館見学などに行って来ました。広島、長崎の原爆被害も忘れてはならない事だと思えます。日本がいつまでも平和で、食べるものに困らない事を願っています。平和であってこそ生協ですから。

畑のがっこうに 参加して感じたこと



武藤鈴香さん
(南信地域・総代)

コープの組合員になって「畑のがっこう」という活動があるという事を知人から教えてもらい、参加しました。子連れで畑に関して素人の私でも、スムーズに作業することができました。子どもたちは畑作業よりも、虫捕りや幼虫探しに夢中になっていました。収穫時期には、子どもたちも大興奮し、一生懸命働いてくれました。収穫

に携わらなければ分からない事が、大人も子どももたくさんありました。日常では感じない、忘れがちな感動があると思えます。興味のある方は、この素敵な活動にぜひ、参加してみてください。

つながりを大切に



相沢寿美さん
(北信地域・組合員)

私は昨年から、大勢の子どもとその保護者とかかわる団体で仕事をしています。

その前はコープのブロックスタッフ・総合スタッフとして6年間かわりを持つことが出来、様々な経験とたくさんの方との出会いがありました。コープでの経験は、内向的で人前で話すが苦手な私に自信をつけてくれました。行く先々で出会う組合員の皆さんとの交流があり、私は人と接する仕事の充実感と、人と人がつながっていく喜びを感じました。コープのスタッフは辞めても人と人とのつながりの場を大切にしていきたいと思っています。

コープの活動に 参加して思うこと



片桐綾子さん
(南信地域・総代)

私がコープを始めるきっかけとなったのは、長女の妊娠でした。最初は荷物を配達してもらえから便利だなあ、くらいの気持ちで始めたコープですが、今では総代をやったり、学習会やコープ会に参加して、コープの活動をより広く深く知ることができました。

そんな中でいつも稲里店のきらきらずの企画や、にこにこルームの子どもの一時預かりサービスをうらやましく思っています。飯田のコープ店舗の跡地の利用法として、稲里店のにこにこルームのような施設も検討の候補として入れていただけたらいいな、と思います。

環境について



木村見江さん
(東信地域・総代)

生協で作った小さなコープの

エシカルリーフレットは素敵です。地域、環境、社会、人々の視点で進めてゆくという考えが、生協だけでなく、日本中、世界中に広がることを願います。ユニセフ募金等、1円が積み重なっての寄付や、日本の貧困家庭への支援などもずっと続けてください。自然エネルギーはまだまだ少ないため、原発や化石燃料に日本は頼っています。それが持続可能な世界では「エコ」「もったいない」「おたがいさま」の精神で、エシカル消費をはじめ、賢い消費者になりましょう。若いお母さん方に特に期待します。

役員選任の件が可決され、コープながのの理事長は前専務理事の太田栄一さん、専務理事は前執行役員丸山辰明さん、常務理事は前執行役員土屋信一さんとなりました。

退任理事の紹介と新任理事の紹介があり総代会を終了しました。

募金贈呈式

「ハッピーミルクプロジェクト」

総代会終了後、ハッピーミルクプロジェクトの募金贈呈式が行なわれました。ハッピーミルクプロジェクトは、コープデリ連合会(コープながのをはじめ、コープみらい・いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・コープにいがた)で取り組んでいるコープマークの牛乳を対象にした募金のことです。組合員が、これらの牛乳を購入した売上金の一部を、日本ユニセフ協会を通じてシエラレオネ共和国の子どもたちのために活用しています。前理事長の上田さんから、日本ユニセフ協会の海老原さんへ目録が手渡されました。募金贈呈式に続き、コープミックスキャロットの学習講演会がありました。

